

各 位

上場会社名 Mipox株式会社  
 代表者 代表取締役社長 渡邊 淳  
 (コード番号 5381)  
 問合せ先責任者 取締役執行役員 経営管理本部長 原田 尚知  
 (TEL 03-6911-2300)

平成29年3月期通期業績予想と実績値の差異、  
 営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成28年11月8日に公表いたしました通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせするとともに、平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の個別決算において、営業外費用及び特別損失を計上することになりましたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成28年3月期通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,439	77	△75	△232	△22.50
今回発表実績(B)	6,410	223	149	△147	△14.08
増減額(B-A)	△29	146	224	85	
増減率(%)	△0.5	189.0	—	36.9	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	4,204	508	513	323	31.79

## (2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,307	△270	△343	△33.71
今回発表実績(B)	3,364	△308	△534	△51.16
増減額(B-A)	57	△38	△190	
増減率(%)	1.7	△14.0	△55.6	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	3,035	251	163	15.92

## 2. 業績予想と実績値の差異の理由

## (1) 連結業績

売上面において、受託関連事業の売上が増加した一方、検収の遅れにより半導体関連事業の機械装置の売上が前回公表より減少しました。損益面において、利益率の高い製品の売上増加などで製品構成差が変化したこと等により売上総利益率が良化したことが主要因で営業利益が前回予想を上回ることとなりました。また、米ドルに対する円安進行などによる為替益の発生により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表より増加することとなりました。

## (2) 個別業績

連結同様の理由で営業利益が増加したものの、関係会社に対する貸倒引当金繰入額の計上により経常利益が、関係会社株式評価損の計上により当期純利益が、それぞれ前回公表を下回ることとなりました。

## 3. 営業外費用及び特別損失の内容

当社の連結子会社について、財政状態および経営成績等による今後の事業計画の見直しを行った結果、「金融商品に関する会計基準」に基づき、営業外費用として貸倒引当金繰入額180百万円、特別損失として関係会社株式評価損129百万円及び減損損失134百万円を計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損は連結決算で相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上